

わたしの 妊娠報告書

記載日 2015年 2月 14日

おめでた宣言日	2014 年 6 月
年齢 (34) 歳	平成 (18) 年 (10) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(3) 年 () ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング法のみ * 病院と相性が良くなかったため途中でやめました)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵	タイミング法 (4) 回
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発	タイミング法 (4) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	(1) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精	(3) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	() 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

体外受精の1,2回目はなるべく体を動かさないようにしていましたが、抗血栓剤 バファリンを飲んでいたので血流を良くしたほうがいいのか? と思い、3回目は体操や軽いウォーキングなど、積極的に体を動かしていました。今思うと、気分転換にもなって精神的にも良かったのかな...

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

生理が不順だったので、タイミング法は早々とあきらめてステップアップしました。治療中はただ時間だけが過ぎていくようで焦りもあって「自然」にこだわる気持ちは無くなりました。体外受精3回やっても妊娠しなかつたら、一度治療を休もうと思っていました。

その他 (通院・治療費・家族など)

住まいが高の原から京都の左京区へ移、た当初は距離があるので通院に不安を感じましたが、ドライブ好きだったのでむしろ楽しみました。週末に通院するときは必ず夫も一緒に2人の気持ちがそろうようにしていました。お互いの家族には「治療中」ということは伝えていましたが、あまり細かい話はしていなかつたと思います。流産したときは、さすがに姉・実母に話して悲しさを紛らせていました。

治療中の方へのアドバイス

私の場合ですが、治療に専念するため、仕事に就かないでいたので、「いつ治療が終わるのか人生これでいいのか」と何度も自問していました。どうしても頭の中が妊娠に関することばっかりになりがちなので、気分転換のバリエーションをたくさん用意しました。(食・酒・ドライブ・旅etc) また、私は妊娠しなかつたときのことを考えて、治療期間を「習い事・趣味を深めて後の人生を豊かにする期間」としていました。そうするとムダに時間だけが過ぎていく感覚が少し薄れた気がします。

スタッフへのご意見など

ASKAに通院したのは偶然(関西に移住し、新居から近かつた)でしたが、本当に幸運だと思えます。スタッフの方は皆、親身で丁寧で、通院が全く苦にならない環境でした。中山先生の近すぎず離れすぎない対応は、今思うとものすごく絶妙です。毎回納得して受診できました。もし妊娠しなかつたとしても、ASKAでならそれを受け入れて、病院の方々にも感謝できたと思えます。